

株式会社森燃（岩手県一関市）



森燃外観

創業73年を迎える株式会社森燃は地域密着型の事業を展開。きめ細かなサービスと真摯(しんし)に取り組む営業姿勢で着実に施工実績を増やし、顧客の信頼を得てきた。「LPガスや灯油の販売に加え、冷暖房や空調工事、機器メンテナンスまでお客様の要望に広く対応できるように努めております」とガス保安部の小野寺文男部長。従業員の大半が地元出身で、プライベートでも交流がある風通しの良さも73年の実績につながっている。

検針業務の効率化で顧客サービスを拡充

「検針の自動化に伴い、それまで検針に費やしていた時間と人材を他の業務に充てられるようになりました。特に機器の修理や点検などの依頼が増える繁忙期に、スピーディーな対応ができることは顧客サービスにつながります」と小野寺部長は話す。また、24時間集中監視センターの見守り体制でこれまで以上に残量監視が正確にできるため、冷暖房の使用開始時期などガスの使用量の変化率が大きい顧客に対しても配送計画が立ち、安定供給が見込めるといふ。「読み取れる情報量が増え問題が生じる前に対処できるため保安の観点からも役立っており、不具合に対しての原因説明にもつながります。お客様からはガスメーターが遮断する前に連絡が入ったと満足いただけました」

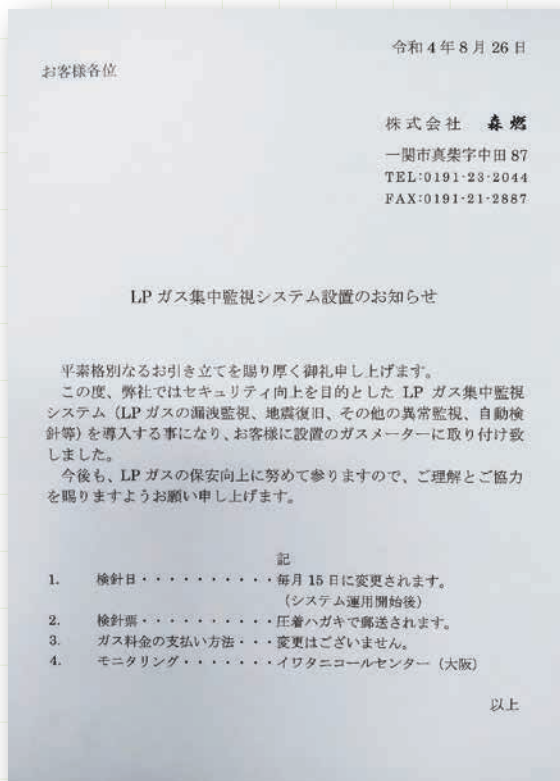


小野寺文男部長

補助事業を検討している方へのアドバイス

通信機器メーカーの選定は、通信エリア内でバックアップ体制が整っていたこと。「予定していた現場で通信できなかったところは1件だけでほぼ問題ありませんでした。通信業者の方には現場に同行してもらったこともあり、懇切丁寧に教えていただき本当に助かりました。反省点としては、施工写真をスマホで撮影していたため不鮮明な所があり撮り直しのため再度現場に行ったこと。画面の大きいタブレットなどを利用して撮影することをお勧めします」

また、事業者決定が8月下旬だったため、施工時期が秋から冬にかけての繁忙期と重なり作業人員の確保に苦慮したという。「事業者確定から完了までの期間がもう少し早いと助かりますし、お客様への周知にも時間がかけられると思います」



設置前周知チラシ

今後の展望

補助金申請は今年度が初。2,930件の顧客に対して811件(2022年10月現在)で導入が進んだ。今後も普及を推進する一方「検針スタッフとの対面を楽しみにしている高齢者の方もいらっしゃいます。検針自動化と併せて顧客とのコミュニケーションもこれまで以上に密にしたいです」と力を込める小野寺部長。地域密着を軸に“燃料と設備の森燃”としてこの地で更なる事業の拡大を目指す。



社内風景

会社概要と LPWA 通信システムの実態調査票

会社名	株式会社 森燃		所在地	岩手県一関市真柴字中田 87		
社長名	代表取締役社長 三浦 卓		事業責任者	三浦 大	役職名	代表取締役専務
連絡先	部署名	ガス保安部	ホームページ	http://www.morinen.com/		
	担当者名	小野寺 文男	電話番号	0191-23-2044	従業員数	32 名
会社設立	1960 年 7 月 1 日					
事業内容	1.燃料販売：L Pガス、石油類 2.一般高圧ガス：ドライアイス製造及び販売 3.設備工事：L Pガス工事、管工事、水道施設工事、冷暖房設備工事、他					
会社の強み	・創業から 73 年を迎え、地域に密着して得た多大な信頼は、きめ細かなサービスや真摯に取り組む営業活動や施工実績から成るものと考えています。 ・LP ガス、灯油販売、給排水工事、冷暖房・空調工事、機器メンテナンスまで行い「燃料と設備の森燃」として地域に信認されています。					
お客さま件数	合計 2,930 件（うち家庭用 2,712 件、業務用 218 件）					

LPWA 通信システムの 具体的活用状況 (システム・サービス等 の概要)	<input type="checkbox"/> システム連携 <input checked="" type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <具体的活用方法> 保安情報取得、自動検針、残量監視					
	<申請前における業務上の問題点> 検針業務の効率化を図り、顧客サービス時間の確保 使用量変化率の大きい顧客様に対応した検針、残量監視 <導入によって期待する効果> 保安出動に於ける初動情報の取得 検針業務の省力化					
導入費用総額	5,190,000 円(内補助金対象 5,190,000 円)			補助金額	2,595,000 円	
導入期間	補助金 申請日	令和 3 年	機器設置 完了日	令和 4 年	所要期間	7ヶ月
		6月29日		1月21日		

実行体制	合計	4 名	うち社内	4 名	うち社外	0 名
-------------	----	-----	------	-----	------	-----

■ LPWA 通信システム導入までのスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仕様検討	→											
メーカー選定	→											
設置先の選定	→											
補助金申請書作成	→											
事前調査	→											
事前周知						→						
工事期間							→					
試験運用							→					
本格運用										→		
メーカー講習会						★						

通信機器メーカー選定の決め手	<ul style="list-style-type: none"> ・通信エリア、信頼性 ・履行補助事業社の推奨 ・施工指導までバックアップして頂いたメーカー担当
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<p><発生した問題点></p> <p>事業者決定が 8 月下旬ということもあり、発注、納品、部材準備と施工資料準備を進めたが、繁忙期に施工となった為、作業人員の確保に苦慮致しました。</p> <p>周知期間が短かった</p> <p><上記問題点を改善した方法></p> <p>テレセーフ設置業務を専属にして推進した。</p> <p>施工前周知と施工後運用前通知を行った。</p>
導入によって得られた効果や、想定外の効果	<p>検針業務の短縮</p> <p>保安業務、営業活動の拡充</p> <p>使用量変化に対応した計画配送</p>
効果の額	<p>人件費 35,000 円</p> <p>電話対応処理で保安出動の減少 (冬季実績例・2 月合計 20 件×3,000 円)</p>
反省点	<p>施工写真が不鮮明な所があり、取り直しのために再施工を行った。</p> <p>登録電話番号が変更されていて、お客様に連絡が取れないところがあった。</p>
今後の拡張方針	<p><input type="checkbox"/>システム連携 <input checked="" type="checkbox"/>販売管理 <input checked="" type="checkbox"/>料金請求 <input checked="" type="checkbox"/>配送 <input checked="" type="checkbox"/>保安 <input type="checkbox"/>その他 ()</p>

自己評価 5 または 4 の場合は () 内に具体的な内容	申請作業 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	仕様確定 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	メーカー選定 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	事前周知 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	工事作業 (自社施工の人員確保)	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	試運転 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	その他 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
申請から導入後 (現在) までの 反響・意見・要望	社内から	使用変化率の大きいお客様の配送管理がやりやすくなった。						
	社外 (業界・取引先) から	導入後の運用状況などの意見を求められました。						
	お客さまから	メーター遮断前連絡に満足頂けました。						
補助事業申請予定者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)	施工写真をスマホで行っていたので、画面の大きいタブレットなどを利用して撮影したほうが良かった。							

他社からの問合せ先	電話 0191-23-2044 Eメール F_Onodera@morinen.com
他社からのベンチマーク	可